

平成 27 年 11 月 26 日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 笠原 久恵 様

議会報告会 3 班  
班長 乾 紳一郎  
西尾 段  
大塚 洋一  
笠原 久恵  
斉藤 真理  
楠山 栄子  
海老原 功一

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成 27 年 11 月 14 日（木）  
午後 1 時 00 分～午後 2 時 50 分
- 2 場所 北部公民館
- 3 欠席議員 無
- 4 参加者数 7 人  
(内 2 名議員、1 名職員、1 名元職員)
- 5 報告内容
  - (1) 放射能指定廃棄物の取り扱いについて（視察報告）
  - (2) 各議員から一般質問について報告
    - ①西尾「次期総合計画策定のための意見収集について」
    - ②大塚「T X 高架下の有効活用について」

- ③ 笠原「子どもの悩みへの自殺やSNSでのいじめについて」
- ④ 斎藤「認知症対策について」
- ⑤ 楠山「三本松古墳発掘調査について」
- ⑥ 乾「国保料の引き上げ計画について」

## 6 意見交換内容

### (1) 放射能指定廃棄物の取り扱いについて（視察報告）

#### 【質問】

- ・ボックスカルバートについて、コンクリートだけでは、放射線が高くなると放射能が通過することを知っているか。
- ・原発に材料を収めている東京機材が野田市にあるので確認をするといい。

#### 【回答】

- ・コンクリートの放射能の遮蔽率は99%と聞いておりますが、その検証については委員会では出ていません。
- ・流山市は手賀沼から戻された8000ベクレル以上の指定廃棄物を仮設テントで保管していました。柏市で使用しているボックスカルバートは少なくとも、竜巻などに耐えられる構造であったので、これを採用したと聞いています。
- ・引き続き放射能の測定を行い、必要な対策があれば加えていきます。

#### 【質問】

- ・子どもたちに甲状腺の症状がでたとき、最終的な責任を市は考えているのか。いつまで測定を行うのか。

#### 【回答】

- ・原発事故について、市には責任はありません。安全を考え、子どもが使用する施設についての除染作業は平成23年度に終了しております。公園等の地中に埋設しているものについても市と協力して、最終的に安心して暮らせるように私たちも気にかけていきます。
- ・本日説明させて頂いたのは、テントからボックスカルバートという丈夫で遮蔽率の高いものに移行するということであり、現状より安全なものになるということが前提で行われているということです。

・今後もモニタリングの中で数値がどのくらい下がったのかを検証して参ります。

【質問】

・一次保管とあるが、どのくらいの期間なのか。

【回答】

・当初、地元の方には最終処分場へ移動するという約束でテントを設置しました。国・東電の責任は明確なので一次保管という立場は変えない予定です。

・現状では、最終処分場の候補地選考について難航していると聞いていますが、地元との約束もありますので、現在のボックスカルバートを最終処分場とすることも考えておりません。

・ボックスカルバートを地中に埋める検討もありましたが、地上に置くことで、あくまでも一次保管であるという意思表示を込めました。今後も国への最終処分場への移設を議論していきます。

【質問】

・その後新たに指定廃棄物は発生しているのか。その場合ボックスカルバートは2基で足りるのか。

【回答】

・増えることはありません。現在、草木については別回収で処理しています。

(2) 各議員から一般質問について報告

※質問に対する回答は、それぞれ報告した議員が行いました。

①西尾「次期総合計画策定のための意見収集について」

【質問】

・流山市議会では子ども市議会を取り入れる構想はあるか。

【回答】

・高校生議会を開くことを調整しています。現在、代表者会議に提案している段階です。

②大塚「TX高架下の有効活用について」

【質問】

・財産の活用や利益性がどれだけ保たれ、街のために何が向上されるのか。

【回答】

・市野谷の森からおおたかの森駅、セントラルパーク駅そして新体育館を駅カンで繋ぎ、緑の連鎖や健康促進といった新たな魅力を創出したいと考えています。

【質問】

・市民に何が還元されるか、必要性など手順を追って示すべきである。弱者にも目を向けているのか、足元を見てそのようなところも感じてもらいたい。

【回答】

・今後も検討していきたいと思います。

③笠原「子どもの悩みへの自殺やSNSでのいじめについて」

【質問】

・いじめをなくすのは学校だけではむり。学校の教育者がやるスキルからはみ出している。いじめは大人の組織の中にもある。

・最後に子どもを守るのは親であり社会ではない。実の親が守ることができない子供もいる。仕組み的にできない原因があるので毎年こういうことが起きてしまう。

・子どもが自殺をするには前提がある。周りはそれを知っていても見過ごしてきた。

・子どもを授けてもらって、そのお借りしているものを社会にお返しするという仕組みの意識の高さが必要。

・親が子を守るのに何が大切か、親の道徳心と教育である。過去30年できていない。

・市内の幾つかの小学校で学級崩壊が起きたことを知っているか。いずれ大変な問題となる要因としてのいじめが既に起きている。

・この問題を取り上げた以上、自分の目で確かめ、自分の口で発し、これを防止する必要があるのではないか。

【質問】

・わかりました。

④斎藤「認知症対策について」

【質問】

・NHKで認知症の予防薬の完成が近いという放送をしていた。

・予防薬をお金がなくて購入出来ない人に補助金を出すなどの取り組みについて、執行部から回答を引き出せたか。

【回答】

・今後もこのテーマについて検証していきたいと考えています。  
・薬が開発され実用される状態になっていく段階で、しっかりと取り組んで参ります。

#### ⑤楠山「三本松古墳発掘調査について」

【質問】

・この発掘は流山市が関係しているか。

【回答】

・市施行の土地区画整理事業です。

【質問】

・発掘されると副葬品は記録し写真を撮り保管されるのだろうが、古墳自体はどうなるのか。

【回答】

・完全に無くなります。

【質問】

・合法的な基準があるのか。

【回答】

・危険崩落区域に隣接する民家があり、市としては危険性を取り除きたい考えですが、私としては、この間に小道程の距離があるので、そこに擁壁を作れば壊さなくても済むと思い保存を要望しました。しかし、市は県の危険崩落区域を一番の理由に挙げていました。

【質問】

危険がなければ保存ができるのでは、三輪野山古墳が該当するのでは。

【回答】

・三輪野山は保存する義務が国なり県なりに発生したものです。

【質問】

・家ができたのが後からであり、ここに建築確認の許可を下さなければ良かったのではないか。

【回答】 そう思います。

⑥ 乾「国保料の引き上げ計画について」

【質問】

- ・定年で社会保険から国保に変わる人が増えている、病院にかかる人が多くなる。私も収めているより給付される方が多いと思う。
- ・国でも広域で国保をやるような方向で検討されていると思うがそれについてはどのような考えか。

【回答】

- ・国は都道府県一元化でプログラムを進めています。平成30年度から千葉県単位で国保を行うとのことです。
- ・ただ、保険料や収納や予算はそれぞれの市町村が決めるという形でスタートします。
- ・国は都道府県一元化で医療費を抑制したい考えがあります。
- ・現在、全国の市町村で医療費の赤字額は3400億円ありますが、その分は国が面倒をみるということで平成27年と30年に1700億円ずつ財政支援をするという状況にあります。
- ・平成30年度から流山市はどうかというと、県の平均より負担率が低いので県単位になると県の平均に合わせる形になるので、平成27年に上げて30年にも上げることも考えざるを得ないと言っておりました。
- ・平成30年度に一気に上げるより、平成28年度に少し上げることもあると市からの説明がありました。

【質問】

- ・健康保険料が払えなくなった時の差し押さえの基準はどうなっているのか。市が上げざるを得ない理由は、税収入が少なく支出が上回ってきているので健康保険料を値上げせざるを得なくなっているのか、問題は大きいと思う。
- ・一人一人の生活水準が上がり支払能力が向上すれば健康保険料を上げなくてもいいのではないか。産業が増えて街が潤えばいい。弱者に対しての健康保険料のあり方について説明が欲しい。

【回答】

- ・回収の対策ですが、滞納すると督促という形を行っています。それでも回収できない場合は差し押さえがあります。意思表示をしないと差し押さえになってしまいます。分割などの相談に応じることもあります。
- ・税収や国保料の問題に関する私の考えは、流山市は税収が増え、

予算規模も増えていますし、国保は収入の限界があるので、市が補填する必要があると考えています。

・市は財政計画で2億5000万円というラインを引いています。過去2年間でそれを上回り4億円の繰入になっているので今後引き上げを行い、4億円を2億5000万円まで引き下げたいというのが値上げの理由になっています。

・このことは国保の問題というより流山市全体の予算の使い方の問題であると私は理解しています。

【質問】

・使い方がまともでないという位置づけで見ているのか。

【回答】

私はそういう立場から12月議会に臨む予定です。

【質問】

・収入100万円以下の人が年間836円上がる。200万円以下が全体の7割との話があったが、200万円以下なら年間1672円、月なら約200円の負担になる。ある程度その位ならしかたがないと思う。

【回答】

・国の支援があって、下げる自治体もあります。来年度上げるとい自治体はかなり少ないと思います。

【質問】

・流山市の高齢化率と病院にいくお年寄りが増えているのではないか。

【回答】

・県内や近辺とそんなに変わらないと思いますが、タイミングとしてそれでいいのかという思いであります。

(3) その他

【質問】

・斎藤議員に質問する。おおたかの森小中学校建設に対して、格差是正のため既存の小中学校にエアコンを設置することになったが、おおたかの森小中学校にもエアコンを設置するとすると、格差の問題はどう考えるか。

【回答】

・子どもたちの健康と命を守ることとして、熱中症対策というの

が大前提にあり、その意味合いを含めたエアコンの設置であったと思います。

・おおたかの森小中学校は新しいので、暑さ対策の工夫が取り入れられるのは当然のことです。風が通る設計になっているのでエアコンはいらないという説明がありましたが、実際に今年の夏は、5月ごろから30度を超す日がありました。涼しい風が通る日もありましたが、熱波が入ってくることも多かったです。

・風が通るには両側の窓を開ける必要がありますが、風が強いとプリント等が舞ってしまう問題もありました。

・実際に他の学校との室内温度が変わらないのであれば、子どもたちには責任はないので熱中症対策としてエアコンの設置も考えて行くべきだと思います。

#### 【意見】

・なぜあのような学校を作ったのか、初めからエアコンをつけるようにしていればあのような設計でなくてもよかったのでは。

・後付ではお金がかかるので、議員が建設時にもっと検証すべきであったと思う。

#### 【質問】

・議会報告会について、議員から各自治会に出席するよう呼びかけた方がいい。自治会長、副会長に声を掛けたらどうか。

#### 【回答】

・当初は議員も議会報告会に自分の支援者を連れて来たことがありましたが、支援者が支援する議員だけに拍手をしたことがありました。又、支援していない議員にブーイングをしたこともありましたので、これを避け支援者には声を掛けないことにしました。

・誰に声をかけるか、今回もこの3班は何を報告しようかという話になり、視察報告と自分たちの議員としての9月議会の一般質問を報告することになりました。

・これからも市民の方に流山市議会をよく見て頂くために努力して参りたいと思っております。そして、もっと議員報告会のPRを行って行きたいと思えます。

・本日は人数が少ないですが、中身のある内容であったと思えます。



## 7 参加者から議会への要望

- 放射能問題終結への目標や目安を設定すべきである。
- 指定廃棄物保管の安全性確保を国に要望して欲しい。
- 次期総合計画の期間は20年では長いので、もう少し短くして欲しい。
- 東葛病院が来年スタートするので、駅カンに薬局などが入店すると便利である。
- 市議会議員が地域の中でいじめ防止の見守りを行う必要がある。
- いじめに関する勉強会を深く広めていろいろなところでやるべき。
- 市議会議員は教育委員会の会議を傍聴してもらいたい。
- 市政ウォッチャーの一人として、議会はいい方向に変わっていると思う。市民との議会報告会の特徴として他の市町村にもあまりないので、是非PRし、もっと活気のあるものにした方がいい。
- 納税によって世の中の仕組みが成り立っている。納税者を育てるという取組の中に、議員一人一人がどれだけの考え方を持っているのか。1つ事例として、東深井中学校を今年卒業し就職した母子家庭の女の子の話をする。
  - ・この女の子は、毎月給料から給食費を校長先生に返金している。
  - ・生活の援助は貰っていない。理由は、自分たちは母子家庭であっても、もっと必要な人がいるのではという母親の教えである。
  - ・3年間給食を食べさせてもらった。私は能力が足りず高校に進学出来たのではない、高校に行く前に社会人として働けるのだから、自分やる義務がある。自分の食べたものをきちんとお返しした上でその後、蓄えを持って母親の面倒を見ながら何年かかっても高校へ行くという。
  - ・今の世の中、年をとってもごまかして生きている人はたくさんいる。でも、この子は世の中に何を言いたいのか響くものがある。
  - ・この子が将来、お母さんになりおばあさんになり多くの家族を持つことになるだろう。
  - ・質の高い家族だと思う。それは誰かに言われたのではなく、家族構成の中で学んで来たことである。
  - ・国民がここまで踏みにじられ、ここまできている段階で、いい段階を寄り添ってやるとか、そういうものを学ぶというのは、自

分の置かれた立場で学びなさいという、置かれた場所で育ったというものをこの子は持っていた。

・言いたいのは、この話を聞いた後、そういうモノサシを持った議員が一人一人いて欲しい。それが大事なことであると思う。

・後の含みという成長の枝わけや実をならすのは個人あり社会である。このことは胸に含めて頂きたい。

## 8 所感

### ■ 乾 紳一郎

・平成21年の第1回目の議会報告会以来、テーマを決めて市民と意見交換をおこなうことを重点においてきましたが、今回、第3班は、各議員の一般質問の報告（10分間）をすることにしました。

・議長を除く全員が9月議会で質問しているから出来たことだと思います。今年の4月に改選があり3班にも2人の新人議員がいますから、こうした取り組みも意義があるものと考えがえます。

・ただ、テーマを絞って、市民と意見交換する場ということ言えば、分散的になったというマイナス面も考えられます。

・市民の参加が3人と少なかったことが最大の反省点ですが、すべての議員が主体的に報告会に参加したこと、市民との質疑答弁も短時間ながら密度の濃いやりとりになったことは良かったです。今回の新しい取り組みを総括して、次回の議会報告会に活かしたいと考えます。

### ■ 斉藤 真理

・私が議員になって今回で7回目の議会報告会になります。少しでも市民の方に議会活動を知って頂き、身近に市民の方の声を聞かせて頂きたいと、毎回いろいろ工夫しています。

・今回は、直近の9月議会で一般質問した内容をお話しました。参加人数は少なかったですが、真剣に聞いて下さり、貴重なご意見も頂きました。今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。

### ■ 楠山 栄子

・市民の参加人数は少なかったが、参加した方の意識が高く、後から「人数が少なくても、かえってよかった。しっかり意見も言えたり、話し合いもできたから」と感想をいただいた。人数が少なくとも、議会報告会開催の意義があった。

#### ■ 笠原 久恵

・第11回議会報告会で私からの一般質問の報告は「SNSやメールなどのいじめや長期休暇後の学生の自殺について」お話しさせていただきました。子供の悩みへの対応として私の考えは、学校だけでなく、家庭だけではなく、もちろん地域だけではなく学校と家庭、地域の三者で子供たちを育てるために様々な連携を密にしていくべきと考えました。

・議会報告会への参加者は少数人数でしたが、様々な質問や活発なご意見があり、とても有意義であったと思います。内容の中で参加者の方々の声やアンケートの内容を班で話し合い対応を考えていきたいです。

#### ■ 西尾 段

・初めての取り組みとして議員それぞれが一般質問で質問した内容と答弁を発表した。市民の方からも活発な質問が出て有意義な報告会になったと感じた。

・一方、参加者が計7名、その内委員ではない市議会議員が2名、市役所職員1名、元職員1名で市民の参加は実質3名に留まった。市民に対する議会活動の報告の場と考えてもっと市民に参加してもらえる様に事前の活動をするべきだったと反省している。

・広報ながれやまや、ホームページでの告知は継続するとして、各議員がホームページで告知したり、メール等で案内をする必要が有ると思う。

#### ■ 大塚 洋一

・今回は、北部公民館での第3班による市民経済委員会の議会報告会であるので、市民経済に興味のある方が来られるかと思っておりましたが、実際、市民の方の参加者は3名であり、呼び掛けの仕方に工夫をする必要を感じました。

・少人数の参加ではありましたが、それぞれのテーマについて大変中身のある適切なお意見を頂くことができました。